

## 令和5年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 37

千葉県立国府台高等学校 全日制の課程 普通科

### 1 期待する生徒像

本校への入学の意志が明確であり、基本的な生活習慣が身に付き、次の全てを満たす生徒

ア 学習成績が優秀で、特別活動等において設定した目標に対し、積極的に取り組んだ経験をもつこと。

イ 入学後も、様々な場面で主体的・協働的に活動をする意志をもつこと。

### 2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査	学校が定めた次の検査の結果
面接	受検者5名程度・評価者2名の集団面接 検査時間：1グループ15分程度

### 3 評価項目及び評価基準

#### (1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点の合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

#### (2) 調査書〔155点満点〕

アの数値に、エについて加点(上限20点)したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	生徒会活動、部活動、その他の活動で積極的に取り組んだと認められる記述については加点（上限20点）する。
オ 総合所見	内容に問題があると判断される記載がある場合は、審議の対象とする。

#### (3) 学校設定検査（面接）〔40点満点〕

2名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを10点、bを7点、cを2点とし、2名の評価者の評価(各20点満点)を合計し、得点化する。  
評価cが2つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機・高校生活への意欲	志望の動機が明確である。 高校生活に対する目標、意識が明確であり、継続的に取り組む意志がある。
イ 質問に対する応答・面接に臨む態度	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。 面接に臨む態度が適切で、基本的な面接作法が身に付いている。

#### 4 選抜方法

##### (1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定 (K=1)	加点	面接	
500点	135点	20点	40点	695点

##### (2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

#### 5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。